

地域景況レポート

2023年「令和5年度第4期(1月～3月期)」

とっかけ

“平安時代の雰囲気を体験 寝殿造を模した学習施設”



▲吹風殿と日本庭園

◀住所＝いわき市勿来
町関田長沢98-1

勿来の関公園「吹風殿」

「吹風を なこそその関と おもへども 道
もせにちる 山桜かな」

今から千年ほど前、陸奥守兼鎮守府将軍を
つとめた源義家が歌を詠みました。

この歌にちなみ、名付けられたのが「吹風
殿(すいふうでん)」です。

平安貴族の邸宅を「寝殿造(しんでんづく
り)」と言い、吹風殿は、この寝殿造を模し
て建てられた体験学習施設です。

平安時代の雰囲気を味わい、体験できる憩
いの場、歴史・自然に触れ合う総合学習の場、
野点、歌会、伝統芸能などの発表の場として
も利用できます。

施設が占用利用されている場合を除き、無
料で見学や休憩ができます。

*施設の休館日、開館時間、使用料など詳しい
ことは、(一財)いわき公園緑地観光公社(電話
0246-43-0033)にお問い合わせください。

目次

- 表紙 “平安時代の雰囲気を体験 寝殿造を模した学習施設”
1～5 中小企業景気動向調査の集計結果
特別調査「中小企業における人材戦略について」
6 企業紹介「(有)ナコソフーズ」
7 市内の観光歴史めぐり：満照寺不動堂／向日葵



街の応援団・町のパートナー

ひまわり信用金庫



中小企業景気動向調査の集計結果

[調査対象企業数 400 社]
 [回答企業数 393 社]
 [回収率 98.2%]

景気動向調査回答企業

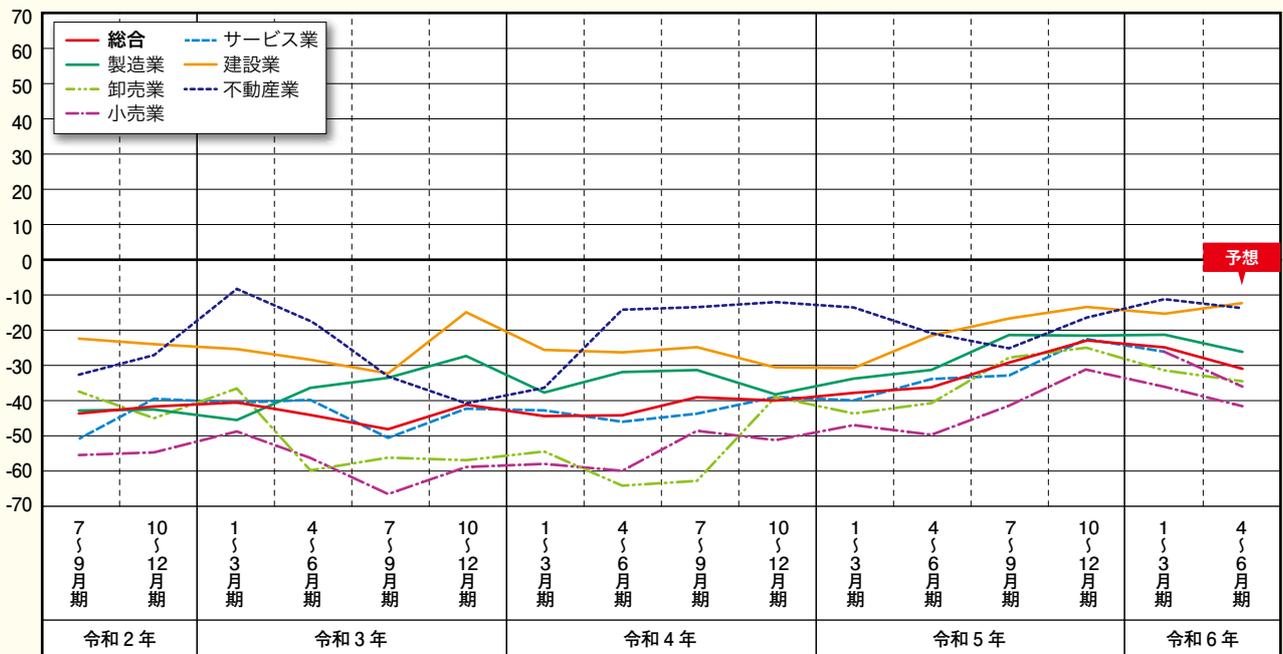
(先)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域)	28	15	47	32	25	10	157
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	30	13	37	26	27	9	142
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	20	4	32	21	13	4	94
合計	78	32	116	79	65	23	393

概況

業況はわずかに悪化し、先行きについても悪化する見通し

令和6年1月～3月期の自企業の業況DIを前回調査（令和5年10月～12月期）と比較すると、いわき市全域で「悪化」超24.7%と1.4ポイント悪化超幅が拡大した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を29.9%とみていたので、予想よりも5.2ポイント悪化超幅が縮小した。地域別では、平・内郷方部は「悪化」超14.0%と3.1ポイント悪化超幅が拡大、小名浜・常磐方部も「悪化」超31.0%と1.7ポイント悪化超幅が拡大した。一方、勿来方部は「悪化」超33.0%と1.7ポイント悪化超幅が縮小した。先行き（令和6年4月～6月期）は、いわき市全域で「悪化」超30.3%と、悪化超幅の拡大が見込まれている。



自企業の業況

※ DI (Diffusion Index) 値とは

景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。「とっかけ」もDI値を使用しています。

業種別・地域別業況

一部業種で改善が見られたものの、業種全体ではわずかに悪化。先行きも業種全体では悪化で推移する見通し

前回調査（令和5年10月～12月期）と今回調査（令和6年1月～3月期）を業種別にみると、卸売業は「悪化」超31.3%と悪化超幅が6.3ポイント拡大、小売業は「悪化」超37.1%と悪化超幅が6.1ポイント拡大、サービス業も「悪化」超25.3%と悪化超幅が1.6ポイント拡大。一方、製造業は「悪化」超20.5%と悪化超幅が1.0ポイント縮小、建設業は「悪化」超10.8%と悪化超幅が2.4ポイント縮小、不動産業も「悪化」超4.3%と悪化超幅が12.4ポイントと大幅に縮小した。

先行き（令和6年4月～6月期）は、すべての業種で悪化超幅が拡大することから、業種全体では「悪化」超30.3%と悪化超幅の拡大が見込まれている。

業種別の業況

() は前回調査時の今期予想 [単位:%]

業種別	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期(予想)
総合	▲23.3	▲24.7(▲29.9)	▲30.3
製造業	▲21.5	▲20.5(▲29.1)	▲25.6
卸売業	▲25.0	▲31.3(▲34.4)	▲34.4
小売業	▲31.0	▲37.1(▲35.3)	▲41.4
サービス業	▲23.7	▲25.3(▲34.2)	▲36.7
建設業	▲13.2	▲10.8(▲19.1)	▲12.3
不動産業	▲16.7	▲4.3(▲16.7)	▲13.0

地域別の業況 [方部別の推移]

[単位:%]

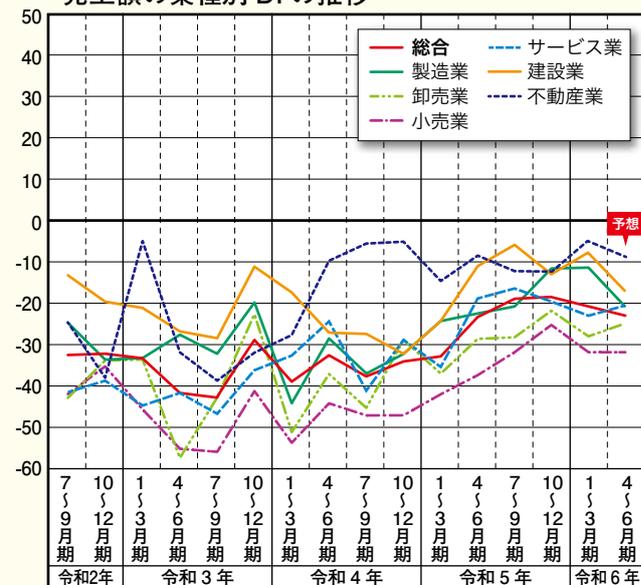
方部別	令和5年10月～12月期	令和6年1月～3月期	令和6年4月～6月期(予想)
いわき市全域	▲23.3	▲24.7	▲30.3
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央支店の地域)	▲10.9	▲14.0	▲20.4
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	▲29.3	▲31.0	▲33.8
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	▲34.7	▲33.0	▲41.5

※▲は「悪化」超

▶▶ 売上額

売上額は、前回調査(令和5年10月～12月期)の「減少」超18.2%に対し、今回調査(令和6年1月～3月期)では、「減少」超20.1%と1.9ポイント減少超幅が拡大した。また、先行き(令和6年4月～6月期)は、「減少」超22.9%と売上額の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

売上額の業種別 DI の推移



▶▶ 受注残

製造業は、前回調査(令和5年10月～12月期)の「減少」超13.9%に対し、今回調査(令和6年1月～3月期)では、「減少」超14.1%と0.2ポイント減少超幅が拡大した。先行き(令和6年4月～6月期)は、「減少」超17.9%と受注残の減少を見込まれている企業がやや増加している。

建設業は、前回調査(令和5年10月～12月期)の「減少」超10.3%に対し、今回調査(令和6年1月～3月期)では、「減少」超10.8%と0.5ポイント減少超幅が拡大した。先行き(令和6年4月～6月期)は、「減少」超16.9%と受注残の減少を見込まれている企業が増加している。

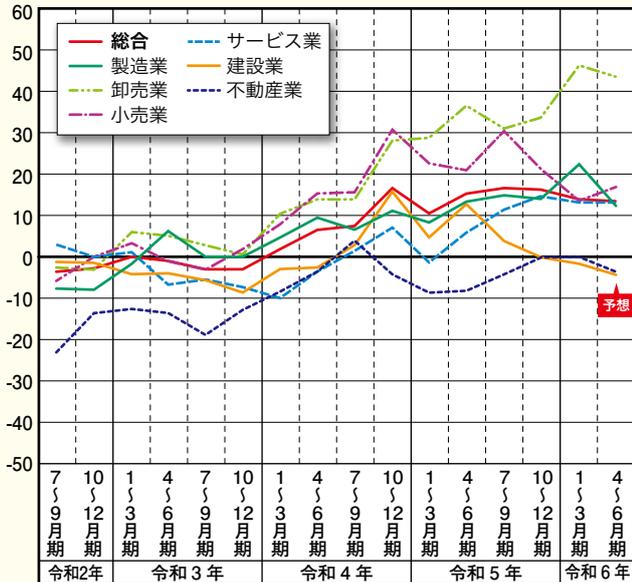
▶▶ 施工高

建設業における施工高は、前回調査(令和5年10月～12月期)の「減少」超7.4%に対し、今回調査(令和6年1月～3月期)では、「減少」超6.2%と1.2ポイント減少超幅が縮小した。

先行き(令和6年4月～6月期)は、「減少」超12.3%と施工高の減少を見込まれている企業が増加している。

▶ 販売・請負価格

販売・請負価格の業種別 DI の推移

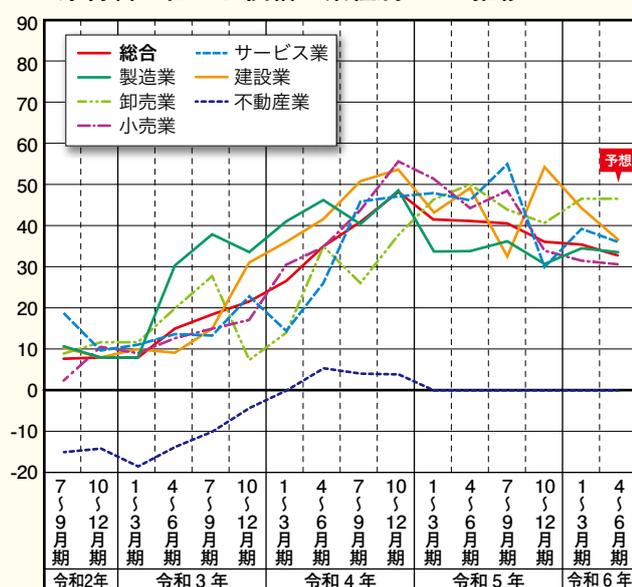


販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和5年10月～12月期）の「上昇」超14.9%に対し、今回調査（令和6年1月～3月期）では、「上昇」超14.8%と0.1ポイント上昇超幅が縮小した。業種別では、不動産業は前回調査と同数、製造業、卸売業は上昇、小売業、サービス業、建設業は下降となった。

先行き（令和6年4月～6月期）は、小売業は上昇、製造業、卸売業、建設業、不動産業は下降、サービス業は前回調査と同数が見込まれていることから、業種全体では「上昇」超13.0%と販売・請負価格の上昇を見込まれている企業がわずかに減少している。

▶ 原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和5年10月～12月期）の「上昇」超36.3%に対し、今回調査（令和6年1月～3月期）では、「上昇」超35.5%と0.8ポイント上昇超幅が縮小した。

先行き（令和6年4月～6月期）は、業種全体で「上昇」超32.7%と原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業がわずかに減少している。

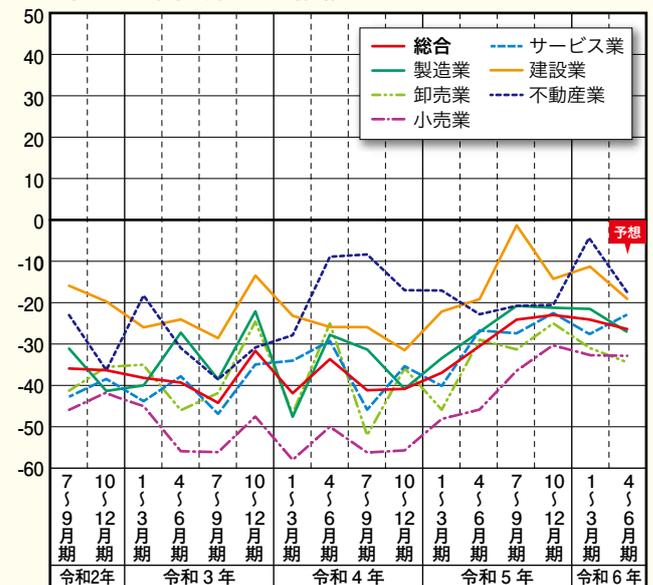
▶ 収益

収益は、業種全体で前回調査（令和5年10月～12月期）の「減少」超23.3%に対し、今回調査（令和6年1月～3月期）では、「減少」超24.2%と0.9ポイント減少超幅が拡大した。

業種別に前回調査（令和5年10月～12月期）と今回調査（令和6年1月～3月期）を比較すると、製造業、卸売業、小売業、サービス業は減少超幅が拡大、建設業、不動産業は減少超幅が縮小した。

先行き（令和6年4月～6月期）は、業種全体で「減少」超26.5%と収益の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

収益の業種別 DI の推移



▶ 在庫

在庫の状況は、業種全体で前回調査（令和5年10月～12月期）の「不足」超3.1%に対し、今回調査（令和6年1月～3月期）では、「不足」超3.8%と0.7ポイント不足超幅が拡大した。

先行き（令和6年4月～6月期）は、卸売業、不動産業は前回調査と同数、製造業、小売業、建設業は不足超幅が拡大することから、業種全体で「不足」超7.0%が見込まれている。

▶ 資金繰り

資金繰りは、引き続きすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体でも「苦しい」超20.4%となった。

先行き（令和6年4月～6月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体で「苦しい」超21.4%となり、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

▶ 金融機関借り入れ状況

金融機関からの借り入れ状況は、全体の90.1%の企業が「借り入れしない」とした。

今後の借り入れ予定についても、すべての業種で「借り入れの予定なし」とした企業が「借り入れの予定あり」とした企業を上回っており、全体の94.9%の企業が「借り入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借り入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和5年10月～12月期）の89.3%に対し、今回調査（令和6年1月～3月期）では、89.8%となり、借り入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

▶ 設備の状況

設備の状況は、9割の企業（令和6年1月～3月期91.1%、令和6年4月～6月期予想91.3%）が「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和6年1月～3月期）でも、全ての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超6.8%と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

設備投資の実施・予定

上段：先数
下段：比率（%）

業種	令和6年1月～3月期							令和6年4月～6月期								
	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他	実施しない	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他	実施しない
総合	3 0.8	5 1.3	10 2.7	13 3.4	9 2.4	1 0.3	336 89.1		2 0.5	7 1.9	11 2.9	6 1.6	11 2.9	1 0.3	340 89.9	
製造業	0 0.0	2 2.4	4 4.8	6 7.2	3 3.6	0 0.0	68 82.0		1 1.2	2 2.4	4 4.8	2 2.4	4 4.8	0 0.0	71 84.4	
卸売業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	31 96.9		0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	31 96.9	
小売業	0 0.0	—	—	1 0.9	3 2.6	1 0.9	109 95.6		0 0.0	—	—	2 1.8	3 2.6	1 0.9	108 94.7	
サービス業	1 1.3	1 1.3	4 5.0	2 2.4	1 1.3	0 0.0	71 88.7		0 0.0	1 1.3	5 6.3	1 1.3	0 0.0	0 0.0	72 91.1	
建設業	2 2.9	2 2.9	2 2.9	3 4.5	2 2.9	0 0.0	57 83.9		1 1.4	3 4.3	2 2.9	1 1.4	4 5.8	0 0.0	58 84.2	

経営上の問題点

（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	174	31	22	56	33	24	8
同業者間の競争の激化	106	9	9	23	30	22	13
原材料高（材料価格の上昇）	81	31	—	—	19	31	—
人手不足	74	18	1	14	20	21	0
利幅の縮小	59	12	10	24	6	5	2
大手企業（大型店）との競争の激化	53	5	—	26	9	11	2
仕入先からの値上げ要請	50	8	11	31	—	—	—
人件費の増加	23	14	2	1	—	6	0
販売商品（商品物件）の不足	20	—	4	7	—	—	9
商圏人口の減少	17	—	—	10	7	—	—
取引先の減少	15	—	4	7	4	—	—
天候の不順	15	3	2	4	4	2	—
その他	91	17	7	24	14	21	8
問題なし	36	9	1	11	7	5	3
合計	814	157	73	238	153	148	45

当面の重点経営施策（経営のポイント）

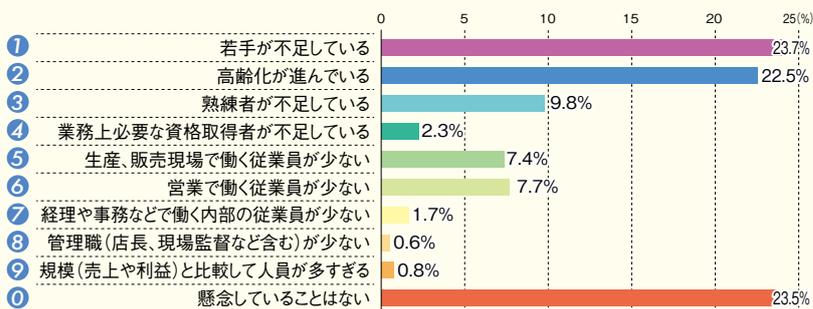
（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	227	44	22	64	44	42	11
販路を広げる	82	27	15	—	18	17	5
宣伝・広告を強化する	66	—	—	34	21	—	11
人材を確保する	59	22	0	8	13	15	1
情報力を強化する	46	16	9	—	—	12	9
品揃えを改善（充実）する	38	—	9	29	—	—	—
技術力を強化する（高める）	27	—	—	—	12	15	—
提携先を見つける	27	10	8	—	3	—	6
売れ筋商品を取り扱う	16	—	—	16	—	—	—
教育訓練を強化する	15	0	0	2	8	5	0
商店街事業を活性化させる	14	—	—	14	—	—	—
店舗・設備を改装する	11	—	—	7	4	—	—
その他	67	23	2	16	11	13	2
特になし	45	8	3	17	11	5	1
合計	740	150	68	207	145	124	46

特別調査「中小企業における人材戦略について」

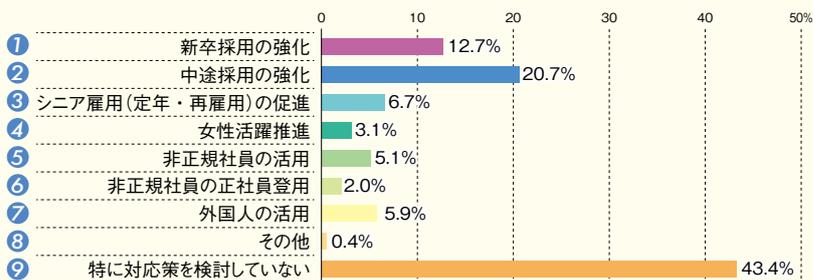
問1

貴社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。1～0中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。



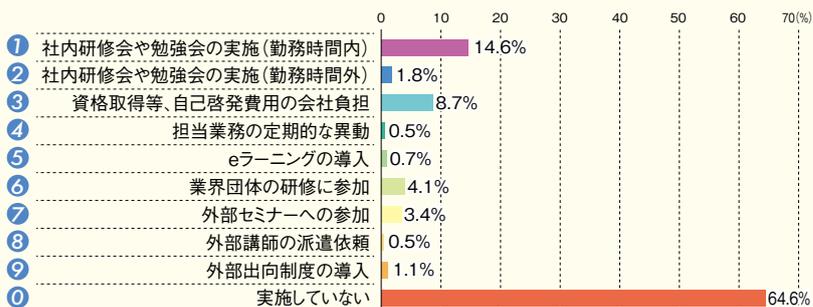
問2

今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものを、1～9の中から3つ選んでお答えください。



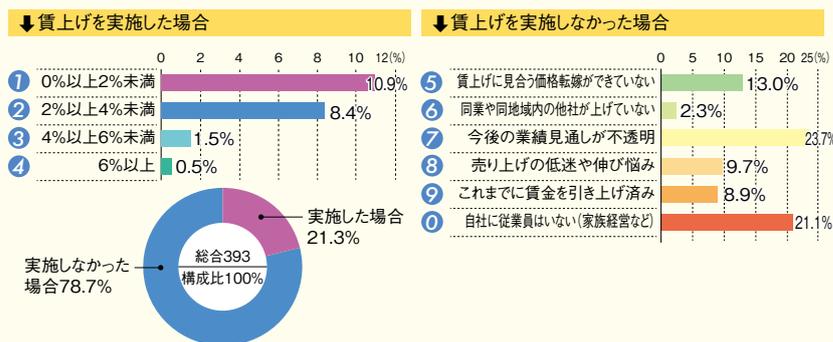
問3

貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練(OJT)以外の取り組みを実施していますか。1～9の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。実施していない方は0を選択してください。



問4

貴社では、人材定着などに向けて、2024年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引き上げを実施(実施予定を含む)しますか。引き上げる方はその賃金引き上げ率について、引き上げない方は引き上げなかった理由について、それぞれお答えください。



問5

2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限が始まります(2024年問題)。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると見込まれますか。1～5の中から選んでお答えください。また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。6～8の中から選んでお答えください。



企業紹介

public relations

(有) ナコンフーズ

代表取締役 鈴木 政喜

住所：〒979-0141 いわき市勿来町窪田町通4丁目142
電話番号：0246-64-7579
営業時間：午前8時～午後5時
休日：日曜日



当社は、明治38（1905）年の創業以来、約120年にわたって、納豆の製造、販売を行ってまいりました。素材と、製法にこだわり、手作りの安全な食品を皆さんにお届けしようと、早朝3時には起床し準備を始め、5時から釜たきをして、自慢の納豆を作っています。

おいしく、体に良い食品として当社の納豆を知ってもらおうと、各地のデパートの物産展、食に関する展示会などにも足を運び、試食をしてもらった方への販売にも力を入れ、自ら行動し、売れるための努力を欠かさないう、心がけています。

お客様が、「うまい」と言ってくれる顔が見たい。食べたらかわるおいしさと、安全で体に良い発酵食品の納豆を知っていただきたいと活動を続けています。

有機野菜などの安全食材の宅配サービスを手がけるネットスーパー「Oisix（おいしくす）」でも、利用者の皆様からご好評をいただいています。これからもおいしい納豆をいわき市内、そして、全国の皆様にお届けできるよう、頑張っまいます。



【編集室から】

国産大豆など、素材にこだわり、納豆を包むパッケージには経木を使用。優れた吸水、調湿、抗菌などの効果を持つアカマツの経木は、香りの良さ、臭みのなさも相まって、豆の持つ味わいを最大限に引き出す。

市内スーパーの行事、各種イベント会場の飲食ブースにも出展。納豆のおいしさを知り尽くした鈴木社長の軽妙なトークで、実演販売も人気が高い。

新商品のもち麦を使った納豆は、これまでにない食感を備えた納豆を目指し、さまざまな麦と、豆を組み合わせ、試行錯誤を繰り返して、発売前から注文が殺到する逸品に仕上がっている。

大粒の黒豆を使った「勿来黒豆」は、ご飯のおかずだけではなく、そのうまみが絶品で、日本酒と合い極上のおつまみにもなると、左党にも好評。

安心安全な食品の提供、体を作るための食育にも気を配り、従来の納豆に加えて、新時代の納豆を生み出す努力を重ね続けている。

市内の 観光歴史めぐり



(所在地：いわき市田人町黒田字別当 50)

満照寺不動堂 (まんしょうじふどうどう)

いわき市には、多くの観光歴史名所があります。
「市内の観光歴史めぐり」として、満照寺不動堂
を紹介します。

満照寺不動堂は、総檜造(そうけやきつく)りの
一面の長さ6.26mの三間四面堂(さんけんしめん
どう)で、四周の廻縁で造られています。屋根は単
層の宝形造(ほうぎょうづく)りで茅葺(かやぶき)、
基壇の上に建っています。

周囲の柱は、粽(ちまき)付きの円柱12本が立
てられ、木鼻(きばな)も付けられています。

正面中央には、観音開きの、動物など浮き彫り
のある棧唐戸(さんからど)、左右脇の間に格子付
花頭窓(こうしつきかとうまど)が設けられ、両脇側
面の中の間に板引違戸を付け、その外はすべて堅
板壁(たていたかべ)で、内部の床は、板張りとなっ
ています。内部は奥一間通りを内陣として、本尊不
動明王坐像が安置されています。天井は中央が鏡
天井、四周は格天井(ごうてんじょう)となっており、
これに飛天や丸竜等の彩色絵が描かれています。

地元には伝えられている記録によると、大聖堂別
当不動堂として、元禄14(1701)年の江戸中期に
建立されたことがわかっています。

別名「黒田不動堂」とも呼ばれ、昭和30年12
月27日に県の重要文化財建造物に指定されてい
ます。また、寺所有の銅製鰐口も同日に県の重要
文化財工芸品に指定されています。



column 向日葵

日本銀行福島支店は、2024年
4月16日に公表した福島県金融経
済概況で、県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩
やかに持ち直している。最終需要の動向をみると、個人消費は、一
部自動車メーカーの出荷停止の影響が残るものの、緩やかな回復を
続けている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、
コロナ禍で見送られた投資や能力増強投資がみられており、緩やかに
持ち直している。公共投資は、減少していると公表されております。

一方、当金庫の令和6年1月～3月期の中小企業景気動向
調査の業況をみると、いわき市全域では、前回調査(令和5年
10月～12月期)と比較し、業種全体では、わずかに悪化しており、
先行きさらに悪化する見通しとなっています。なお、資金繰りについ
ては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行き
もすべての業種で「苦しい」超となっています。

当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせて
いただくため、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んで
参ります。

発行／ひまわり信用金庫
〒970-8026 いわき市平字二町目10
編集／総務部 総務グループ TEL.0246-23-8500
☐ <http://www.shinkin.co.jp/himawari/>

▶『とっかけ』とは 「始める」「取りかかる」という意味の
いわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする
時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。